

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	入居者様への声掛けは寄り添い行うことや、排泄介助時の支援は尊厳やプライバシーに細心の配慮を行うとしているが、日常の業務において離れた位置からの声掛けなどプライバシーに欠けることも全く無いとは言い切れない。	高齢者虐待と身体拘束について知識を習得し、権利擁護に向けた取り組みが実施できる。個々のプライバシーの尊厳の配慮。	資料配布によりレポートの提出等、研修制度を設け、繰り返す事で介護職の意識を向上させる。月の部署会議でも意見交換を行っていく。	12ヶ月
2	40	日々の食事は皆一緒にして頂いているが、もっと食に関心を持って楽しく食事に向かっていたきたい。	食事に関して、提供されたものを摂取することの繰り返しであるが、食を楽しんでいただくことに重点を置き食の大切さ、楽しさを感じ味わっていただく。	食について脳トレ、または健康クイズを行ったりご利用者様のレクリエーション活動として一緒に作れるイベントを実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。